

市民の安全・安心を支えるとともに、市民の皆さんに親しまれる庁舎を目指します



# 砂川市 庁舎建設 基本設計書を 策定しました

市では、昨年12月に策定した「砂川市庁舎建設基本計画」に基づき、新庁舎建築工事の基礎となる基本設計書の作成を進めてきました。

この度、意見募集や市民説明会などの意見を踏まえて、新庁舎の建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備などを取りまとめた「砂川市庁舎建設基本設計書」を策定しましたので、概要をお知らせします。

## 計画概要

- 敷地面積 2,873.39㎡
- 建物構造 鉄骨造
- 階数 地下1階、地上4階、PH（塔屋）1階
- 床面積 5,760.29㎡

## 配置計画・外構計画

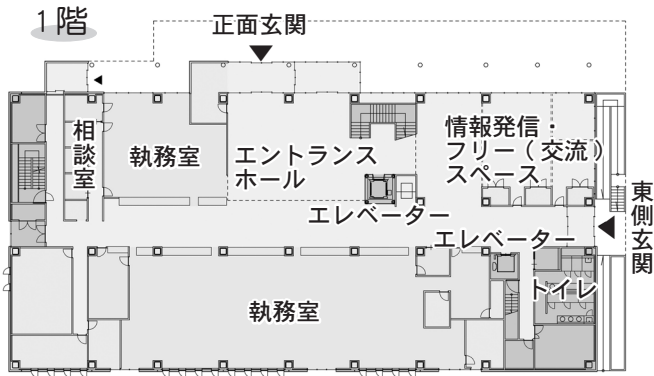
- 図書館への影響に配慮し、新庁舎を図書館南側に配置します
- 正面玄関は北側に設けます。また、北2丁目通りからの来庁者の利便性に配慮し、新庁舎の東側にも玄関を設けます
- 駐車場は、来庁者および公民館、図書館利用者として新庁舎北側（公民館前）に整備します。また、旧庁舎跡地に来庁者や市立病院来院者が利用できる駐車場を整備します

## 防災計画

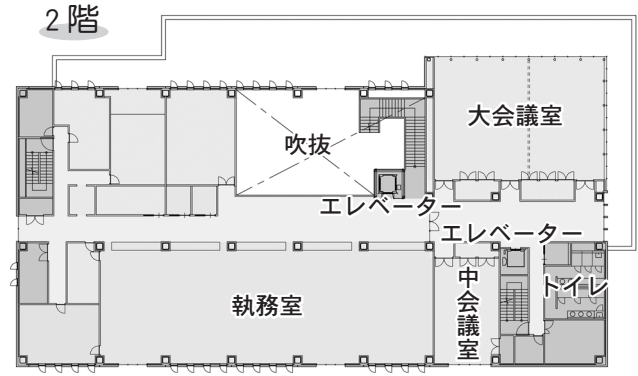
- 災害対策機能を集約配置するとともに、通信情報設備などを整備し、災害対策活動が円滑に行える計画とします
- 非常用発電機を設置し、災害時などの停電の際も3日分の電源供給が可能な計画とします
- 地震対策として、建物は耐震構造を採用し、震度6強に耐えることができる強度の1.5倍の強度設計を行います
- 新庁舎の南側は盛り土し、水害時の公用車などの一時的避難場所および災害対策スペースとして利用できるようにします
- 新庁舎を周辺道路から1.5m高くすることで水害に対応します。また、1階が浸水するような大水害の場合でも、2階以上で執務機能を維持し、水害収束後、早期に復旧できるよう整備します



## 平面計画

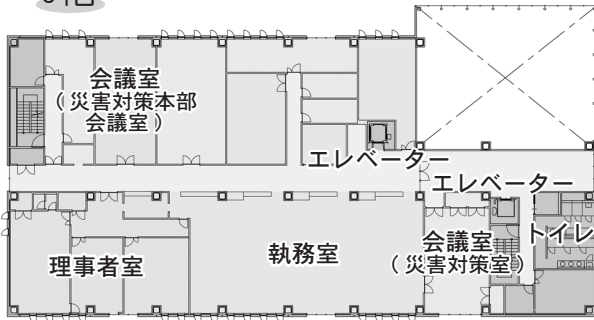


- 市民利用の多い窓口（戸籍、住民票、年金、保険、福祉、税関係、上下水道料金など）を集約配置します
- エントランスホールのわかりやすい位置に階段、エレベーターを設置します
- 市民の方が利用できる情報発信・フリー（交流）スペースを配置します。フリー（交流）スペースは、確定申告などの臨時事務スペースとしても使用します



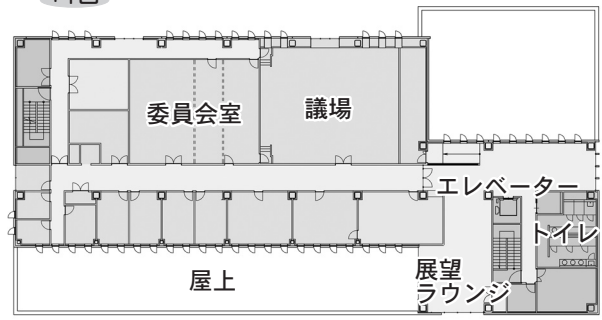
- 土木、建築、商工、農政、教育部署を配置します
- 会議室は、来庁者が利用しやすいよう階段、エレベーターに近い位置に配置します

### 3階



- 総務、防災、市民協働、企画、財政部署を配置します
- 災害対策活動が円滑に行えるよう、理事者室、防災担当部署、災害対策本部会議室、災害対策室を集約配置します

### 4階



- 議会関連諸室を配置します
- 議場は、見通しやすく、傍聴しやすい造りとしします
- オアシスパークや樺戸連峰の眺望を楽しめる展望ラウンジを配置します

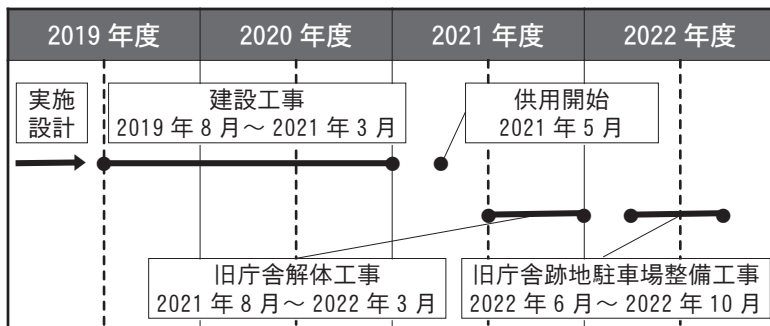
## ユニバーサルデザイン計画

- 各階に多目的トイレを設置します
- 出入口や通路、廊下などは、高齢者や車椅子、ベビーカー利用者に配慮し、なるべく段差を設けないフロア構成とするとともに、車椅子利用者同士がすれ違える通路幅を確保します
- 障がい者用の駐車場を正面玄関付近に整備します

## 環境負荷低減・省エネルギー計画

- 窓は、日射遮蔽効果や断熱効果の高いサッシやガラスを採用し、空調負荷の低減を図ります
- 照明は、LED照明や人感センサーなどを採用し、省電力化を図ります
- 空調設備は、地中熱を利用するなど、自然エネルギーを活用し、省エネルギー化を図ります

## スケジュール



※ 基本設計書については、市ホームページおよび市情報公開コーナーで閲覧することができます

## 概算事業費

区分	金額
建築工事費	32億8,200万円
外構工事費	1億1,900万円
整備関連費	2億5,200万円
その他経費	6億900万円
合計	42億6,200万円

お問い合わせ 推進係④2121